

第5回地域バス交通活性化セミナー実施結果概要

中国地方における地域バス交通の活性化のため、山口県山口市を検討の場として、第5回地域バス交通活性化セミナーを開催し、学識経験者による基調講演や地元自治体からの講演の後、バス事業者や市民代表を加えて、地元で詳しい学識経験者のコーディネートで、地域バス交通の活性化に向けた方策や意識変革の必要性などをパネルディスカッションを通じて検討した。

【開催概要】

名 称：第5回地域バス活性化セミナー
テ ー マ：みんなで支えるバス
～事業者、自治体、市民それぞれの立場で考える～
日 時：平成26年11月28日（金）13：40～16：40
会 場：KKR山口あさくら 扇翠の間（住所：山口県山口市神田町2-18）
参 加 費：無料
主 催：エコモ財団、中国運輸局、みんなが利用したくなる生活交通推進会議
後 援：山口市
参加者数：75名

【実施概要】

○開会挨拶

今谷 三明 国土交通省中国運輸局 山口運輸支局長
与田 俊和 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 理事長

○基調講演

「みんなが利用したくなるバスづくりで、
みんなが住み続けられるまちをつくる」
名古屋大学大学院環境学研究科
准教授 加藤博和



○講演

「みんなが利用したくなる
生活交通推進会議の取組みについて」
山口県商工労働部交通政策課
主査 三木正之



○ パネルディスカッション「バス活性化のためにそれぞれができること」

コーディネーター：鈴木春菜	山口大学大学院准教授
パネリスト：加藤博和	名古屋大学大学院准教授
浜口和彦	山口県商工労働部交通政策課課長
松村喜裕	山口県バス協会会長
吉富崇子	山口県地域消費者団体連絡協議会会長
国安克行	サルビア号を育てる会会長

【概要】

山口県では他地域同様、自家用自動車の普及や過疎化の進展等により、公共交通の輸送人員が減少し、鉄道はピーク時の半分、乗合バスに関してはピーク時の5分の1となり、深刻な問題となっている。そこで山口県では平成19年に、利用者の代表や交通事業者、自治体など関係者が集まり、「安全・快適・便利で環境にもやさしい生活交通」を確立し、住み良いやまぐちの実現を目指すことを目的とした「みんなが利用したくなる生活交通推進会議」を設置し、取組み内容の検討や住民向けの啓発イベントなどを開催してきた。

そこで本パネルディスカッションでは、今後の山口県でのバス活性化を検討するため、講演者の他に、バス事業者団体や市民代表を加えて、地元で詳しい学識経験者のコーディネーターで、パネルディスカッションを実施した。

パネルディスカッションの前半部分では、それぞれの立場から山口県における地域バス交通の課題を明確にし、後半部分で意識変革の必要性など、課題解決や活性化に向けての方策を検討した。

